



SASの音～

No.49
(7月)

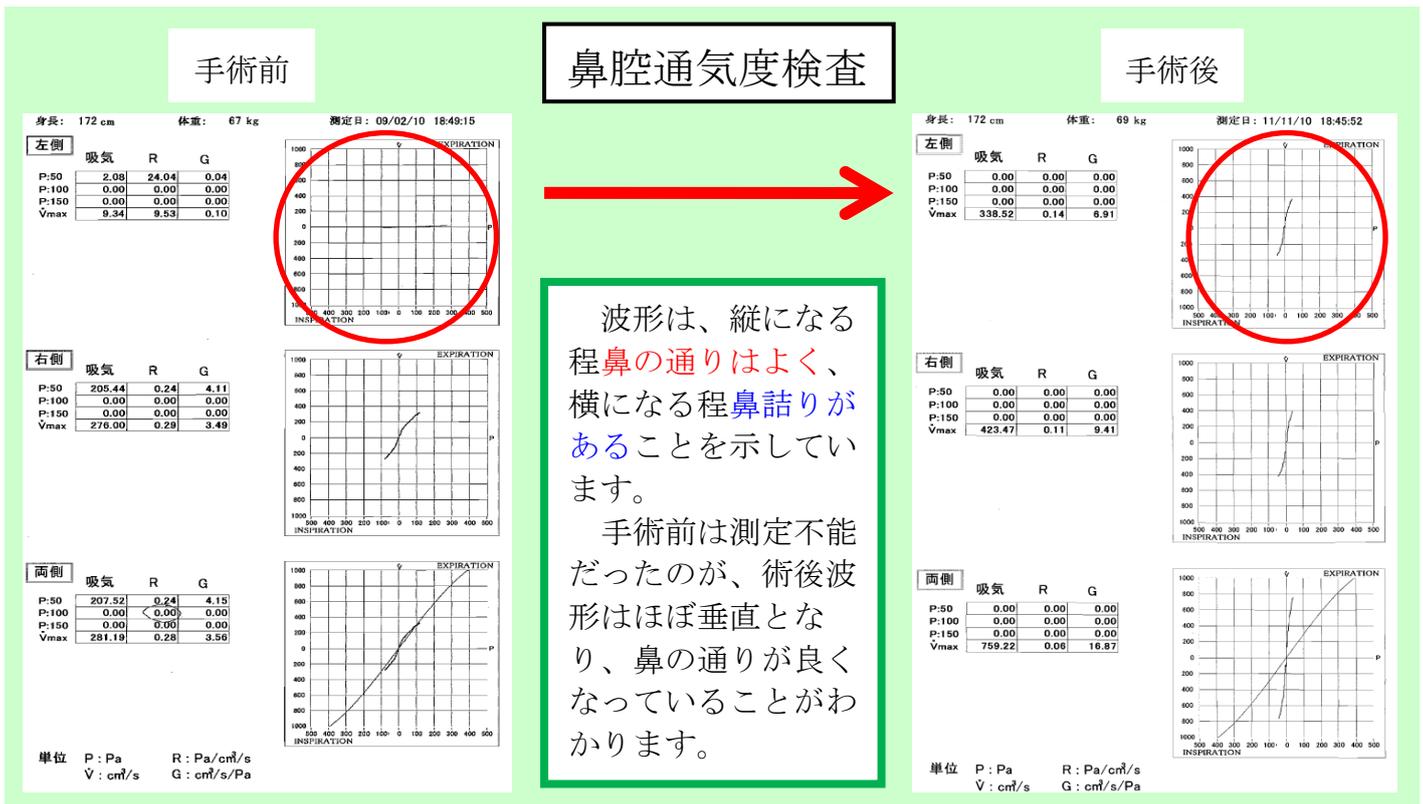
社会医療法人春回会 井上病院
住所:長崎市宝町 6-12
SAS 専用電話: 095-844-1528
睡眠専任技師:酒井・森・松本・坂口
対応時間: 9:00～17:30

近頃…暑さと湿気でじめじめした日が続いていますね。

そんな中、CPAP を装着しマスクで蒸してしまい、なかなか長く使用できる方が少なくなっているかもしれません。世の中エコと言われてはいますが、やはり体のためには CPAP 優先!! 適度な温度・湿度調整を行い、快適に使用できるよう環境も整えていきましょう。

CPAP がうまく使用できないユーザーの中で、鼻炎や鼻詰まりなど鼻の通りに問題がある方がいると思います。今回耳鼻科的手術を行い、CPAP を卒業された方のご紹介をします。

30 代男性Mさんは、検診に来た際 SAS の項目を見て、いびきを主訴に来院されました。PSG 検査にて結果は AHI:22.7/hr 中等症 SAS と診断され、CPAP 治療を開始し、効果を実感されていました。しかし SAS の原因として、鼻中隔湾曲症・口蓋垂の過長なども指摘されており、季節によって鼻の通りが悪くなり、うまく使用できないことが度々見られました。そこで耳鼻科へ紹介となり、鼻中隔矯正術と鼻甲介切除術を行いました。



その結果、爽快感が得られるようになり、CPAP の必要な圧力も軽減しました。また CPAP を装着しなくても体調が良く、簡易検査(Pulsox)でも呼吸イベントの減少を認めたため、今後も減量を徹底していくことで CPAP 卒業となりました。

CPAP ユーザーの皆様の中にも、鼻疾患で悩まれている方がいると思います。気になるかたは耳鼻科または当院担当医やスタッフにご相談ください。

30代男性 Mさんのコメント

20歳に比べ10kg体重が増加し、いびきがひどいと周りから言われた私は約3年前の人間ドッグで、中度のSASと診断されました。

小さい頃からアレルギー性鼻炎に苦しみ、2年前は花粉症も発症しました。CPAPを初めて使用する時に、鼻腔通気度検査をしたところ、片方の鼻の数値はほとんどゼロ。片方のみで呼吸をしていたのです。

すぐに耳鼻科を受診し、SASと伝えると鼻中隔湾曲症で、鼻中隔矯正術と鼻甲介切除術を勧められ、すぐに2つの手術をしました。今は、左右の2つの鼻で均等に呼吸ができることを幸せに思います。残念ながらCPAPはまだ外れませんが、使用時も両方の鼻から空気を取り入れられる爽快感があります。鼻も通ったことだし、次は減量あるのみ。マラソン大会にチャレンジします。

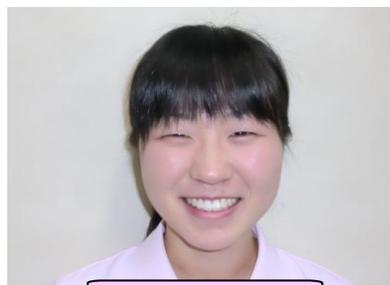
Dr.よりコメント

当院の検討でもCPAPユーザーの3割が何らかの鼻の疾患に罹患しておられました。鼻腔抵抗の上昇はCPAPのアドヒアランス低下をもたらします。鼻閉感が強い時は主治医に御相談下さい。必要時には耳鼻科を紹介いたします。



☆新スタッフ紹介☆

今年度より、睡眠センターに「臨床検査技師」と「睡眠専属アシスタント」が加わりましたので、ご紹介します。CPAPユーザーの皆様にも様々な場面で、対応させて頂く機会があると思いますので、よろしくお願い致します。



坂口 優美

4月から睡眠検査室に入った検査技師の坂口優美です。3ヶ月が経ち、分からないこともまだ多いですが、皆さんのサポートが出来るよう日々努力していこうと思います。よろしくお願い致します。



円田 唯

これから治療のお手伝いをさせていただくことになりました。

よろしくお願い致します。(アシスタント)

SAS診療室からのお願い

- ・CPAPユーザーの方は、**月一度の外来受診**が必要です。受診のない場合は、機器の返却・回収となる場合もありますので、御注意下さい。当院は**予約制**になります。**15日までに当月内の御予約がない場合は、受診願いの文書をお送りさせていただくこともありますので、御了承頂き、早めの御予約をお願いします。**
- ・診察日には**御使用中のCPAP機器もしくはカード**を忘れず御持参下さい。
- ・当院ホームページ(<http://www.shunkaikai.jp/sleep/>)も是非御覧下さい。
- ・来月の土曜 SAS 外来は**8/4(吉嶺)、8/11(原田)、8/18(吉嶺)**です。

